

## 「頑張れアグリ！」(協同組合通信・風雪弾掲載) 平成14年10月10日

今年は、記録に残る台風の襲来の後、一斉に梅雨が明けると共に、一気に暑い夏となり残暑まで厳しかった。

昨今話題の温暖化に伴い、CO<sub>2</sub>の排出権がビッグビジネスとなる日が来るかも知れない。国内・海外で過去の統計値を塗り替える気温の上昇は東欧・ドイツ、中国などで大洪水をもたらした。地域経済はもとより農家経営に大打撃を与えている。

農家にとって、これまでの画一的なJA任せの組合農業から、生産者としての自己責任による消費者に顔の見える個人農業の確立と農家経営が焦眉の急だ。

古来、農作業の各時期と天気や天文との関わりは深く、現在の農業ではより一層、上手な気象情報の活用の是非が収穫高を左右している。

今や天候の見通しや平年値データ等を参考にしながら、農作業や生育を考えるに足る十分な情報がある。

農家が、自ら生産調整や取入れ時期まで判断する事が可能な時代になってきた。

自分の田畑周辺の天気はもとより、競合産地の生育状況と天気までチェックをすることが重要だ。

農作物の品質は、商品としての市場価格にストレートに反映するから真剣にならざるを得ない。

昨今、生産者の名前入りの農作物や畜肉等が、スーパーの店頭やファーマーズマーケットで、認知されて来ており各地で好評を博している。

生命の原点である安全・安心な食物を求める消費者の意識と時代が大きく変化していることを、しっかりとキャッチするべきだ。

これからの農家は、自己責任で自ら育てた生産物に誇りを持ち、流通・小売りのシステムまで正確な情報の入手と的確な判断が必要になる。

その視点は、消費者に真正面から向いていることが必須である。

今や情報革命(IT)の代名詞ともいえる携帯電話によって、野良仕事をしながら、リアルタイムでいくらでも必要な情報は手頃な料金で得られる。

農家でも当たり前になっている現代の便利なツールを上手く活用したインターネット対応の農業情報配信サービスが佐賀で始まった。

市町村単位の気象情報と当日の市況情報を基本としたリアルタイムで利用できる「アグリウェブ」で、日本の元気な農家と農業を考えて行きたい。

( 気象情報システム(株) 高津敏 )

[次頁もご覧下さい\(「アグリウェブ」のご紹介\)](#)



## 携帯電話3モード対応

地域密着型農業情報配信サービス（ビジネス特許出願中）の佐賀版です。

- iモード URL <http://www.wis-x.co.jp/imo/test/saga>
- 佐賀県産の市況情報は[こちら](#)
- 地域の代理店を募集しています。
- 全国都道府県別に、続々カスタマイズしています。
- お問い合わせは[こちら](#)へお願いします。